

リニア新幹線 NEWS・みやまえ No.2

発行：リニア新幹線を考える宮前の会 発行責任：山本太三雄 090 - 8775 - 1879

発行日：2013年3月1日

リニア新幹線沿線住民ネットワークを結成

2月10日、橋本の結成記念集會に300人超の人たちが参加

2月10日、神奈川県橋本で、リニア新幹線沿線住民ネットワーク結成集會が開かれました。橋本は、品川を出発したリニアが停まる1番目の駅です。住民の関心が高く、300人を超える人たちが詰めかけ、広瀬隆さんの話に耳を傾けました。

沿線からは、飯田市、大鹿村、甲府、川崎、東京から参加。大鹿村からは活断層や断層破砕帯が多い南アルプスの山腹にトンネルを掘るなんて、前代未聞。自然破壊だけでなく、事故の危険が高いと訴えがありました。またリニア誘致が盛んに行われたと報道されている飯田市ですが、飯田高校でアンケートをとったところ、賛成が1/3、反対が2/3だったと報告されました。



最後に、リニア中央新幹線の工事の凍結をJR東海と国交省に求めていくことを決議しました。

2月15日、参議院院内集會でリニアの問題を訴える

2月15日、参議院の議員会館で、「公共事業のあり方」について五十嵐敬喜さん（法政大学教授）の話を聞いて議論する院内集會がもたれました。リニア新幹線沿線住民ネットワークからも参加し、リニア中央新幹線の問題点を話しました。

今年の秋には環境影響評価書が出されます

JR東海は、宮前区の潮見台、犬蔵周辺の地質調査や大気質調査、動植物調査に加えて、水沢の森で湧水調査を行いました。今年の秋にはこれらの調査をまとめ、リニア新幹線の工事が住民の生活や自然にどのような影響を与えるか、それについての対策をどうするかを記した環境影響調査書を国や県、市に提出します。ここで初めてルートが明らかになります。

建設計画はすでに国土交通大臣の認可を受けていますので、後は工事の認可のみとなります。これを形だけの手続きにせず、住民が被害をこうむることはお断りと声をあげていきたいです。

リニアの紙芝居ができました

リニアって何？ 集まりでそんな声があれば、呼んでください。紙芝居を持ってお話にいきます。

朝日新聞『声』欄に住民の意見載る(2013.1.17)

朝日新聞「声」欄
2013.1.17

リニア新幹線は必要だろうか
高校講師 持田ひろ子
(川崎市高津区 64)

リニア中央新幹線が、品川一名古屋間を40分で結ぶべく、来年、着工の運びだという。だが、私には政府やJR東海が考えていることが全く理解できない。空路の他に鉄路や道路がこれだけたくさんあって、しかも人口が減少に向かう時代に、なぜリニア新幹線が必要なのか。わざわざ出かけても、メールやファクス、電話など瞬時に相手に届く文明の利器には事欠かない日常でもある。

そもそも大深度の地底にトンネルを掘って、地震や火山の噴火、予期せぬ水脈の切断などにどう対処するつもりなのか。日本列島は四つのプレートがせめぎ合っている。言わば列島全体が活断層のようなものだと言える。また、富士山の噴火も取りざたされている。さらには、巨額の電力消費が覆いかぶさる。建設費は約9兆円。JR東海が自前で捻出するというが、原資は私たちの払う運賃だ。リニア新幹線は、やはり造らせてはいけないと思う。

リニア新幹線とは・・・

- 事業主体＝JR東海旅客鉄道株式会社
 - 工事期間＝2014年～2027年
 - 延長区間＝東京・名古屋間286キロ(東京・神奈川・山梨・長野・岐阜・愛知)
 - 中間駅 ＝相模原市、甲府市、飯田市、中津川市周辺
 - 総工費 ＝5兆4千億円※
 - 走行方式＝超伝導磁気浮上方式(リニアモーターをマイナス269度まで冷やし、そこに電流を流して超伝導状態にし、側壁の磁石との間に生じる強い磁気により車体を浮上させ走行。最高時速505キロ)
- ※2027年以降2045年までに大阪まで延伸する計画で、東京・大阪間の総事業費は9兆300億円となる

リニア新幹線は・・・採算とれない、経済効果も無い、駅整備で地元負担

少子高齢化で人口減、新幹線利用客も頭打ち、リニア利用客だけが增える見通しは甘い。建設促進派は中間駅に1時間で5本停まると地元で経済効果大と言うが、停まっても1本。中間駅関連施設、道路など関連整備で地元は巨額の負担を強いられる。

リニア新幹線は・・・電磁波を出す、電気をムダ使い、安全対策も二の次

リニア実験線車内の電磁波レベルは公表されていない。乗客・沿線住民の健康被害の恐れ。新幹線の3～4倍の電力を消費、運行本数が増えれば原発の再稼働による電力を利用か。「万全の安全対策とる」と説明するが、具体的な事故対策は後回し。

リニア新幹線は・・・南アルプスの自然を破壊、都市でもトンネル工事の影響大

山梨から長野へ南アルプスに大トンネル。日本最大の自然に対する日本最大の破壊行為。悪法「大深度法」で、都市部の住民は、家の真下を通っても権利ゼロ。さらに5～10kmおきにつくられる巨大な「立坑」工事で大迷惑。

リニア新幹線は・・・活断層が動いたらトンネルは大丈夫？

東京・名古屋間の8割がトンネル。その間、多くの活断層が存在。「地下は地震に強い」は神話。揺れには多少強いかも。でも地層がずれる断層地震の経験は未知。危険なリニアをつくるより、東南海地震の被害が心配な東海道新幹線の総点検と大規模改修が先ではないのか。

リニア新幹線沿線住民ネットワーク

東京から名古屋まで、リニア新幹線計画に不安と疑問を持つ計画沿線住民グループを中心に、2012年10月、結成に合意しました。お互いに、経験を交流し、問題の多いリニア計画の凍結・再検証を政府に求めて、署名活動を始めました。

現在の参加団体は、リニア・市民ネット、リニア新幹線を考える東京・神奈川連絡会、リニア新幹線を考える相模原連絡会、みどり山梨、飯田リニアを考える会、NO!リニア連絡会(長野県大鹿村)、東濃リニアを考える会など。